

UAE宇宙庁長官が視察

タウンキャンパス 最先端技術に関心

NEWS CIT

2018
3.15
ニュースシーアイティ

千葉工業大学・入試広報部
〒275-0016 千葉県習志野市津田沼
2丁目17番1号
TEL 047(478)0222 FAX 047(478)3344

<http://www.it-chiba.ac.jp/>

毎月1回(8月を除く)15日発行



① 災害対応ロボットを見学するUAEの視察団
② ファラシ宇宙庁長官から「火星」の本を贈られる瀬戸熊理事長

荒井PERC 探査手つかずの砂漠で



③ UAEの砂漠で発見した隕石
④ 荒井PERC探査手つかずの砂漠で発見した隕石を手にする内閣府の行松審議官

UAEで隕石発見

荒井PERC 探査手つかずの砂漠で

本学が宇宙科学教育支援をすることになったアラブ首長国連邦(UAE)の2月号で既報のファラシ宇宙庁長官が3月4日、東京スカイツリータウンキャンパスを視察した。

UAEは建国50周年の2021年に火星へ無人探査機を打ち上げる計画を進めており、宇宙・惑星科学研究者の育成が喫緊の課題だ。そこで本学

惑星探査研究センター(PERC)が日本の大学グループを組織して、UAEの大学2校の宇宙科学教育を支援すること

が1月、瀬戸熊修理理事長ら訪問して決まった。ファラシ長官は3月3日に東京で開催された第2回国際宇宙探査フォー

ラム(ISEF2)に出席するため来日。「この機会にぜひ千葉工大の最先端技術を見たい」と希望して、この日の視察となった。

アラブ首長国連邦駐日大使や宇宙庁のアハビ事務局長と職員、日本に留学中のUAE学生ら総勢約40人を伴ってスカイツリータウンキャンパスを訪れた同長官は、瀬戸熊理事長に案内されて、まず3000m³Dシアターで「宇宙138億年の旅」地球として生命を鑑賞。続いてArea II(惑

星探査ゾーン)とArea I(ロボット技術ゾーン)をくまなく見て回り、特に4億5000万年前に宇宙から飛来した鉄隕石を鍛え上げた「天鉄刀」に強い関心を示していた。

視察の後の瀬戸熊理事長との懇談で、ファラシ長官はUAEに新設予定の「隕石分析センター」への千葉工大の支援を要請。理事長は協力を約束した。

ニュースガイド

| | |
|----|--|
| 2面 | 優秀賞に石井さん山本さん/立野さんロボワン優勝、皆川さんデザイン賞/女性の活躍支援、瀬戸熊理事長が会合に/本学志願8万人超す |
| 3面 | 就活本番OB・OG懇談会/リュウグウ捉えたカメラ、山田研究員らが開発/高校生に惑星科学講演/洪研究員らタイトルン・原始地球の大気生成過程解明 |
| 4面 | 地域貢献で初報告会/青木准教授、宇井さんが講演/流星自動検出コンペ/ステアラボAIシンポ |
| 5面 | R&D PMシンポ/第38回祝勝・奨励会 |
| 6面 | 定年退職者 |

理士長「隕石分析センターに協力」

面と、角の取れた丸まった外形③溶融殻に空気力学的な形状である筋状の組織がある④溶融殻の下に白い新鮮な内部が見える—などの特徴から、見つけた瞬間に「隕石だ!」と直感したという。

今後、鉱物分析によって隕石であることの確認と分類を行う。

宇宙の謎を解明する惑星科学の研究に不可欠な隕石の探査・採集は主に南極の氷河と砂漠で行われ、UAEと国境を接するオマーンの砂漠ではこれまで4000個以上が採集されている。しかし、オマーンよりも砂漠面積が広いUAEではまだ35個しか見つかっておらず、隕石探査に関して手つかずの状態。

このためUAE宇宙庁は、今回の荒井PERC探査手つかずの砂漠で発見した隕石を、同連邦での

理事に3氏再選

任期満了に伴う評議員互選理事の選出が2月7日、東京都文京区の東京ガーデンパレスで開催された理事会・評議員会で行われ、理事に竹田康宏事務局長、縣良二氏(株アサヒエージェンシー取締役社長)、徳住祥蔵氏(本学前監事)が再選された。



竹田 康宏氏



徳住 祥蔵氏



縣 良二氏

評議員
互選理事

優秀賞に石井さん山本さん

29年度県内大学卒論発表会



受賞した山本さん(左)と石井さん

情報通信技術系の学生を対象とする平成29年度・千葉県内大学卒業論文発表会(県情報サービス産業協会主催、千葉県、県地域IT化推進協など後援)が2月21日、千葉市美浜区の幕張ワールドビジネスガーデン・マリブウエスト棟で開催された。本学からは石井祥由樹さん(電気電子情報工学科4年、今野将研究室)と山本勤さん(同、久保田健研究室)が研究を発表し、ともに卒業論文

石井 祥由樹さん

「動的環境下における自律型ロボットの協調移動制御方法に関する研究」

従来の方法では無駄が多かった自律型ロボットの移動について、何台かの自律型ロボット間で障害物情報を共有し無駄な移動を減らす協調移動制御方法を提案した。多数

山本 勤さん

「無線センサネットワークにおける移動シンクノードを用いたセンシングデータ収集」

センサネットワーク全体の消費電力削減のため、移動しながらデータを収集するシンクノード(中継機)としてドローンを使う方法を提案した。ドローンの移動経路の導出方法を考案し、シ

女性管理職 育てよう

瀬戸熊理事長 賛同者会合に参加

「輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会」行動宣言賛同者のミーティングが3月5日、東京都千代田区の経団連ホールで開催され、本学の瀬戸熊理事長が参加した。この日の参加者は企業経営者を中心に37人。大学関係者は瀬戸熊理事長1人だった。平成26年に首相官邸で

開かれた「輝く女性応援会議」を契機に、女性活躍推進の裾野を広げ、意欲・能力のある女性の登用を積極的に進めていくという各界のリーダーによるムーブメントが広がり、全国規模の「男性リーダーの会」が同年6月に策定した行動宣言の賛同者は、今年2月末現在で163人。内閣府男女共同参画局



会場で説明に立つ瀬戸熊理事長

ロボワン OB立野さんが優勝 皆川さんデザイン賞

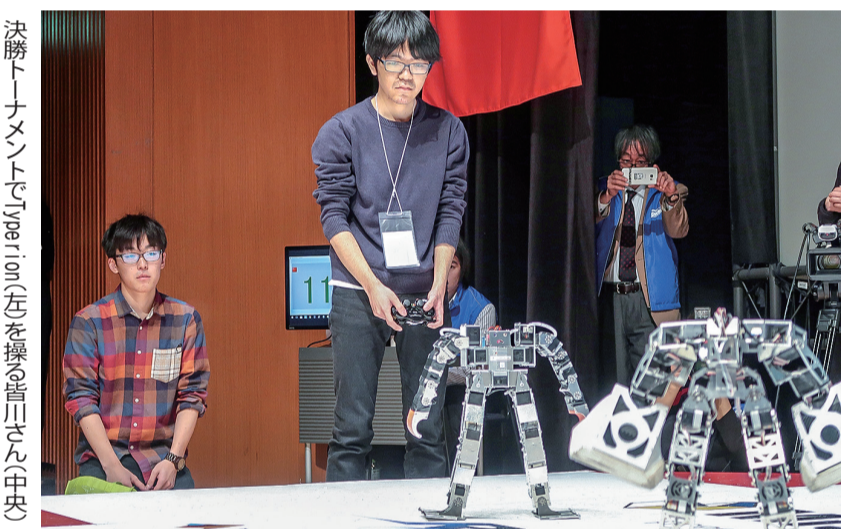
総工研 ロボット技術を生かし

2足歩行のロボット同士が格闘する第32回ROBO-ONE(ロボワン)二足歩行ロボット協会主催 は2月24、25日、東京都江東区の日本科学未来館で開催、本学文化会・総合工学研究会(総工研)OBの立野伸英さん(2017年、機械サイエンス学科卒) 製作のロボット「Speranza(スペランツァ)」が優勝。現役部員の皆川泰輝さん(未来ロボティクス学科2年)の「Typerion(タイペリオン)」がデザ

研でマイコンカー班の班長を務めていた。皆川さんのTyperion(重さ2・7キ、体高43キ)は第26回KONDO(重さ2・7キ、体高43キ)は第26回KONDO



優勝した立野さん



決勝トーナメントでTyperion(左)を操る皆川さん(中央)

中、Typerionは腕に5個のモーターを入れ細かい動きをしている様子が特徴的、とただ1機、デザイン賞に決まった。Typerionは多モーターの腕で、鞭のように鋭い攻撃が出来るのが特徴。だがその分、腕が重く、腕を振り出すと体が不安定になる。このため攻撃時の安定姿勢を探るモーション調整(プログラミング)に苦労したという。皆川さんは「競技はベスト16と悔しい結果でしたが、試合直前まで試行錯誤していたロボットの動きが評価されてうれいです」と語った。大会は「ヘビー級」のROBO-ONEのほかに、重量1キ以下の「ライト」、コントロールなしの完全自律機体で戦う「Bio」がある。今回ROBO-ONEには日本108台、海外23台が参加した。

本学志願 8万人超す 30年度入試 最多を更新

平成30年度のB日程入学試験が2月17、18日の2日間、また大学入試センター利用入学試験(中期)II本学試験なし)、3月5日午前C日程入学試験、同日午後大学入試センター利用入学試験(中期)には3187人(後期)が行われ、本学の平成30年度入学試験が全て終了した。B日程入試の志願者は1万5873人(昨年度より348人減)。大学入試センター利用入試(後期)には2504人(昨年度より1032人増)が志願した。平成30年度の本学総志願者数は8万4499人(昨年度より4438人増)という結果になり、総志願者数はこれまでの記録を更新、一般入学試験志願者ランキングではベスト10入りを果たした。

「好況」にも気引締め

教職協働で最高内定率 目指す

会社説明会が3月1日に解禁されて本格突入した2019年卒業予定者の就活戦線で、千葉工大生にはこれまで以上に企業の熱い視線が注がれている。好況感を背景に人手不足が続き、「就活前倒し」が報道されているが、本学は教員と職員が力を合わせた「手づくり」の学生支援で、過去最高の内定率達成を目指している。

た「写真。マスコミで「就活前倒し」が盛んに報道されていることが影響しているとも考えられる。しかし、本学の対策は万全だ。本学の就活学生に対する支援の特徴は、教員と就職・進路支援部の職員が一体となって、個々の学生に最適な支援プログラムを手づくりし、内定を獲得するまで個別支援の手を緩めないことだ。プログラムづくりには本学への理解が深い企業の役員や採用担当者の力を借りることもあるが、専門企業などによる「既製プログラム」は活用しない。ここでは「学生と教職員の信頼関係が第一」という大学トップから発せられた理念がある。

就活本番

「この春卒業予定の現4年生の内定率は、過去最高だった昨年度をさらに上回っています。その勢いを受けて、現3年生の就活環境も全体的には非常にいい雰囲気です」と就職・進路支援部の福江聡部長は話す。



2月24日、津田沼キャンパスで昨年12月に続いて開催されたOB・OG懇談会に参加した企業は昨年並みの128社だったが、参加学生は894人で昨年より約50人増え

「この春卒業予定の現4年生の内定率は、過去最高だった昨年度をさらに上回っています。その勢いを受けて、現3年生の就活環境も全体的には非常にいい雰囲気です」と就職・進路支援部の福江聡部長は話す。

で、本学は「指針厳守」に徹していく姿勢だ。その上で、福江部長は就活生にこうアドバイスしている。「就活は『早く準備した人ほど、早く結果につながる』。これが鉄則です。だからこそ、今のよきな情勢下では、自分がチャレンジしたい企業の動きを早く、しっかりと捉えておいてください」

高校生に「惑星科学最前線」

PERCが米研究者招き講演会

惑星探査研究センター（PERC）は2月25日、東京スカイツリータウンキャンパスで「宇宙をひもとく惑星科学の最前線」と題した高校生のための講演会を開いた。

就職委員会と就職・進路支援部は、今月15、16、19日に合同企業説明会を開催。4月以降も数回の開催を計画しているほか、随時、個別企業説明会を開く。

「オウムアムア」はハワイ・マウイ島の天文台で初めて観測され、その後、フランスの天文台の観測結果などから、ミチ教授が観測史上初めこの恒星間天体であることを論証し、軌道などを明らかにした。

同教授によると、「オウムアムア」は長さ約1000km、太さは長さの10分の1程度の細長い形で、太陽系の惑星の軌道面のはるか上から突っ込んできて太陽に接近。急激に方向を変え、猛スピードで地球をかすめて、来年には木星の軌道を超え、そのまま太陽系を離脱していくという。

「地球に最も接近した時の距離は、月と地球の距離の約16倍で、天文学的にはニアミス。もう少し近かったら、ぶつかっていたかも知れない非常にリスクの高い天体でした」とミチ教授。

大気の生成過程解明

洪研究者・東大チーム



京大大学院理学系研究科の関根康人准教授、杉田精司教授らのグループはこのほど、原始地球では従来考えられていたよりも有機物エアロゾル層は薄かった可能性がある、と発表。成果は2月15日付の欧州科学誌イカロス電子版に掲載された。

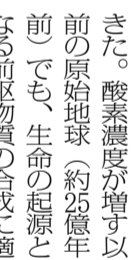
さらに光化学反応を計算する数値モデルを構築し解析したところ、従来想定されてきた低次の炭化水素重合反応よりも、粒子表面でメチルラジカル（エネルギーが高まり反応性が高くなった分子）の付着による不均一反応（固体と気体など2種類以上の相の共存状態での反応）が顕著であることがわかった。

はやぶさ2 小惑星リュウグウ撮影の高性能カメラ 山田研究員らが開発

2014年12月に打ち上げられた宇宙航空研究開発機構（JAXA）の小惑星探査機「はやぶさ2」が2月26、27日、小惑星Ryugu（リュウグウ）の撮影に成功した。リュウグウの姿を捉えた光学航法カメラ（Optical Navigation Camera：ONC）は、本学惑星探査研究センター（PERC）の山田研究員が開

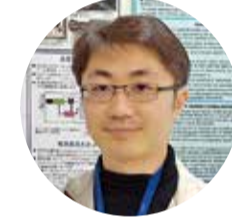
を撮影したように、観測機器試験の一環として、（想定される）リュウグウの方向へカメラを向けて実施。日本時間2月26日正午から翌27日午前9時までにリュウグウの姿を捉えることに成功した。

ONCはJAXAと東京大、千葉工大、名古屋大など7大学が協力して開発。山田研究員はチームメンバーとして開発と



観測計画の検討に携わった。探査機と目標の小惑星との相対位置関係を把握するデジタルカメラで、視野角60度のモノクロ広角カメラ2台と、7種の波長で小惑星を見る望遠カメラ1台の計3台で構成。はやぶさ2初号機のカメラと金星探査機「あかつき」の紫外イメージング電気系の長所を合わせて改良、分光用フィルタは含水

「地球に最も接近した時の距離は、月と地球の距離の約16倍で、天文学的にはニアミス。もう少し近かったら、ぶつかっていたかも知れない非常にリスクの高い天体でした」とミチ教授。



はやぶさ2から捉えたリュウグウと光学航法カメラ（JAXA資料から）⑥は山田研究員

「あかつき」の紫外イメージング電気系の長所を合わせて改良、分光用フィルタは含水

「あかつき」の紫外イメージング電気系の長所を合わせて改良、分光用フィルタは含水

「あかつき」の紫外イメージング電気系の長所を合わせて改良、分光用フィルタは含水

「あかつき」の紫外イメージング電気系の長所を合わせて改良、分光用フィルタは含水

「あかつき」の紫外イメージング電気系の長所を合わせて改良、分光用フィルタは含水

地域貢献初の報告会

本学 県下1町10市と創成探る



ポスター発表を見る参加者たち

5学部17学科と大学院の各研究科が、千葉県下の地域課題の解決をテーマに日ごろ行っている教育・研究、アクティブラーニング、課外活動などの成果を一堂に集めた初の「千葉工大地域貢献プロジェクト報告会」が2月28日、津田沼キャンパス7号館で開催された。

ポスターセッション形式で報告されたプロジェクトは産官学融合課や教務課、附属研究所、furoが行っているものを含めて合計34。

プロジェクトの対象地域は、本学と包括連携協定を結んでいる御宿町と香取、習志野、千葉、浦安の4市のほか、南房総、勝浦、銚子、一宮、いすみ、船橋の合わせて1町10市。御宿町の石田義廣町長をはじめ大半の市から担当者が見学に訪れ、報告者の教職員や学生たちと活発な交流を繰り広げていた。

報告会の冒頭、あいさつした小宮一仁学長は「地域と大学とのつながりは、一方が他方に貢献するのではなく、ウィン・ウインの関係が大切。お互いに知恵を出し合っ、新たな地域創成に取り組んでいくことが重要だ」と強調した。

また、石田御宿町長は「同町がメキシコとの国際交流を行っている同国の選抜大学生の日本研修に本学が全面協力していることや、昨年10月に開催した「千葉工大ロケットフェスティバル」などを例に挙げ、「御宿の活性化に多大なご尽力をいただいていることに感謝している」とあいさつした。

この報告会を企画し、開催にこぎ着けた地域貢献担当の鎌田元弘副学長は「本学の地域貢献活動

化に多大なご尽力をいただいていることに感謝している」とあいさつした。

この報告会を企画し、開催にこぎ着けた地域貢献担当の鎌田元弘副学長は「本学の地域貢献活動

の狙いは、学生と教職員が一体となって大学全体で地域の課題解決、資源活用などに取り組むことにある。とりわけ5学部17学科の知財を活用して、いろいろな分野の課題解決に取り組むプログラムを構築できることが強みだ。その中で学生を鍛え、社会に有用な人材を輩出するという大学の使命を一段推進していきたいと話している。

題解決に取り組むプログラムを構築できることが強みだ。その中で学生を鍛え、社会に有用な人材を輩出するという大学の使命を一段推進して

「光る点」ではないため、時間軸の方向を捉える工夫が必要③応募者に提供されるデータセットでは、流星が映っているデータ(正例)200本に対し、映っていないデータ(負例)は9800本あるため、この不均衡を解決しなければならぬ。この難関が待ち構えているという。

コンペは今年6月30日終了。賞金は第1位30万円▽第2位15万円▽第3位8万円。

メテオ計画 流星自動検出へコンペ

ステアラボとPERCCが初共催

人工知能・ソフトウェア技術研究センター(SAIR Lab)と惑星探査研究センター(PERCC)が初めて共催する千葉工大ならではのコンペティション「メテオサーチチャレンジ」が3月3日、スタートした。

国際宇宙ステーション(ISS)から超高度C-MOSカラーハイビジョンカメラで流星を長期連続観測するPERCCの「メテオプロジェクト」が始まったのは2016年7月7日。これまでにPERCCには200時間以上の観測動画データが届け、そのデータから600個以上の流星が見つかっている。

しかし、動画上の流星を見つけて作業はすべて研究員の目視で行われて

おり、約半分のデータが未確認の状態だ。このため流星を自動で検出するソフトウェアの開発が期待されていた。

そこでステアラボとPERCCが共同で、動画上の流星を検出するアルゴリズムの性能を競うコンペを開催することになり、3月3日、東京スカイツリータワーキャンパス

369人の申し込みがあり、「千葉工大ステアラボ」の知名度と存在感を示す形となった。

講師はデータ分析コンテストの分野ではいづれも世界的な「超」有名人の(株)Studio Asiaの山田育矢氏▽(株)PefterreのNojimaの秋葉拓哉氏▽(株)リクルートテクノロジーズ Advanced Technology Labの小寄耕平氏の3人。

山田氏は「知識ベースを活用した自然言語処理の手法とその応用」▽秋葉氏は「深層学習によるImage画像分類コンテストへのアプローチ」▽小寄氏は「データ分析コンテストの勝者解答から学ぶ」と題してそれぞれ講演。

申込者の約6割は企業の開発職と研究職で、こ

青木准教授、宇井さんが講演

ちば新事業創出NWセミナー

千葉県産業振興センターが産学官連携促進の一環として開催している「ちば新事業創出ネットワークセミナー」で2月14日、本学未来ロボティクス学科の青木岳史准教授と、同学科卒業生で介護機器開発ベンチャーの(株)aba代表取締役、宇井吉美さん(大学院工学研究科博士後期課程2年)が講演した。

殻を持つ歩行ロボットの研究。このロボットは、災害現場の被害状況などを探索するのが目的。レスキュー隊が災害現場に投げ入れると、回転や4足歩行、跳躍などを自律で行って不整地を自在に動き回り、内臓カメラで周辺を撮影して、その情報を前線基地に送ってくる機能を想定して、開発が進められている。

「Helpai」はabaがパラマウントベッド(株)と共同開発した介護用排泄検知シートで、今春に発売される。

特長は①ベッドの上に敷くだけで使え、人体に非装着②尿と大便の両方を検知する③個人差のある臭いを学習する。

この機能を活用して、要介護者個々の排泄リズムをパターン化し、介護業務の効率化やケアの質向上、将来的には個々の要介護者に最適な食品や薬品の選定、福祉用具の最適化……など多くの課題を解決。介護に携わる人たちの負担も軽減し、介護現場に明るいま

人工知能・ソフトウェア技術研究センターは3月3日、東京スカイツリータワーキャンパスで「ステアラボ人工知能シンポジウム2018」を開いたII写真。

昨年に続いて2回目となる今回のテーマは「データ分析コンテストに着目して」。参加者定員の150人を大きく上回る

この日の参加者の顔ぶれも、このような人工知能の世界の1つの傾向を表しているようだ。

このシンポジウムの「まとめ」と題したツイッターには、直後から「名だたるコンペ参加者からの講演の後の『メテオ』の説明もよかった」「とても面白く、主催者・発表者の皆さまに感謝」などの投稿が数多く寄せられている。



講演する④青木准教授と⑤宇井さん

千葉市中央区のホテルで開かれたこの講演会にはものづくり企業のほか、宇井さんの講演を聴こうと介護業界、福祉行政関係者など全部で約70人が参加した。



申込者の約6割は企業の開発職と研究職で、この日の参加者の顔ぶれも、このような人工知能の世界の1つの傾向を表しているようだ。

このシンポジウムの「まとめ」と題したツイッターには、直後から「名だたるコンペ参加者からの講演の後の『メテオ』の説明もよかった」「とても面白く、主催者・発表者の皆さまに感謝」などの投稿が数多く寄せられている。

新時代へPM技法開発

第5回シンポに産官学90人

今回のテーマは「ソサエティ5・0時代のR&Dプロジェクトマネジメント」。「ソサエティ5・0」とは、狩猟、農耕、工業、情報化社会に続く第5世代の「超スマート化社会」。このパ

プロジェクトマネジメント(PM)学科の久保裕史教授が中心となって活動している「R&D PM研究会」が2月9日、東京スカイツリータウンキャンパスで「第5回R&D PMシンポジウム」を開催。産業界や大学、官公庁などから予定定員80人を超える90人が参加した。

この研究会は2012年6月に発足した。R&D(研究開発)にPM技法を適用することで、革新的な製品やサービスを産み出す仕組みや組織作りの知識体系構築を目指している。

この日のシンポジウムでは、招待講演2件が行われた。まず内平直志・北陸先端科学技術大学院大教授の「AIとソフトウェア工学・プロジェクトマネジメント」。最近の急速なAI技術の進展がソフトウェア開発やPMに及ぼす影響と留意点を解説した。

続いて白坂成功・慶應義塾大大学院教授による「ソサエティ5・0時代のR&D PMの進化するシステムデザインアプローチを活かす」。ソサエティ5・0でシステムデザインの実たす役割を具体的事例に基づいて解説し、反響を呼んだ。

続く本研究会員3人の発表はいずれも今年度の博士学位取得につながった成果。1件目は、垣本隆司氏(Intiswift Inc. 日本学

大学院後期博士課程マネジメント工学専攻1年生)の「IoTプラットフォームを活用したエコシステム戦略」。高度に複雑化したシステムの開発では、数多くの企業が自然の生態系のように緊

密に連携していく必要があり、その戦略構築法を提案した。2件目は、今仁武臣氏(PTCジャパン)による「IoT、AI実装プロジェクト事例とそのマネジメント方法論」。3件目は、沖浦文彦氏(JICA 日本学博士課程専攻3年生)による「社会的課題における持続的価値実現のためのプログラムマネジメント」。

OD A開発におけるプログラムマネジメントのあり方を論じた。久保教授は「ソサエティ5・0の実現には幅広い英知の結集が必要となる。本学が中心となって、産官学のさまざまな研究者や技術者を巻き込み、このチャレンジングなテーマで成果をあげ、社会貢献を果たしていきたい」と抱負を語った。

平成29年度に各種競技会や学内外の行事で活躍した体育会、文化会のサークルを表彰する第38回祝勝・奨励会が2月8日、津田沼校舎2号館3階大教室で開かれた。今回表彰されたのは体育会9、文化会6の計15クラブ以下を参照。

学生委員会委員長・鈴木進教授(教育センター)はあいさつで「集まったサークルはこの1年間、素晴らしい成績を残しました。クラブ活動を通じて大学の活性化に寄与してくれば非常にありがたい」とたたえた。次いで瀬戸熊修理事長

は「負けた悔しさと、勝った喜びを体験する事は素晴らしい経験になる。今後も、心身ともに鍛錬しながら向上心を忘れな

いで頑張ってください」と、エールを送った。小宮一仁学長は「この1年、一生懸命クラブ活動に打ち込んだ皆さんの戦績報告はもちろん、この場に集まった方々、自身に満ちあふれ光り輝いた笑顔を見て大変うれしく思います。これからももっと本学を盛り上げてほしい」と述べた。

表彰式後、参加学生らは、仲間と談笑しながら健闘をたたえ合った。



優勝トロフィーや賞状と参加学生たち

15クラブを表彰 祝勝・奨励会

第38回 祝勝・奨励会

表彰されたクラブは以下のとおり。
平成30年2月8日(木)17時～ 津田沼校舎2号館3階大教室で

| 所属 | クラブ名 | 主将・部長等 | 部員数 | 祝勝奨励事由 | 日付 | | |
|---------------|--------------|-----------|---|---|---------------------------|---------------------|-------|
| 体 育 会 | 空 手 道 部 | 金融3 牧野 樹 | 7名 | 千葉県空手道選手権大会 | 女子個人組手 | 優勝 (PM1年 三浦 彩) | 5/3 |
| | | | | 関東学生定期リーグ戦 | 女子団体組手 | 2部優勝 | 6/4 |
| | | | | 東都六工大空手道選手権大会 | 女子個人組手 | 優勝 (デザ1年 富永 莉加) | 6/25 |
| | | | | 秋季関東学生会定期リーグ戦 | 男子個人組手 | 有級の部優勝 (先端2年 木村 準斗) | 11/12 |
| | | | | 全日本大学空手道選手権大会 | 女子団体組手 | 出場 | 11/19 |
| | | | | 全日本理工科系大学空手道選手権記念大会 | 女子個人組手 | 優勝 (PM1年 三浦 彩) | 11/26 |
| | | | | 千葉県学生弓道選手権大会 | 女子個人戦 | 優勝 (生環3年 大野 里彩) | 5/4 |
| | 弓 道 部 | 先端2 萱島 高博 | 51名 | 関東学生弓道選手権大会 | 女子団体戦 | 優勝 | 10/8 |
| | | | | 中関東ブロックⅡ部リーグ戦女子第5週 | 入替戦出場 | 女子Ⅱ部内優勝 | 11/23 |
| | | | | 習志野市市民総合体育大会・弓道競技 | 一般式段以下の部 | 優勝 (金融2年 小野 薫) | 11/23 |
| | 剣 道 部 | 機械2 岩畑 拓也 | 21名 | 習志野市市民総合体育大会 | 男子30歳未満の部 | 優勝 (デザ2年 宮下 慶大) | 10/8 |
| | 硬 式 野 球 部 | 電情3 市川 海悠 | 61名 | 千葉県大学野球新人戦 | 新人戦 | 優勝 | 7/2 |
| | 自 動 車 部 | 機サ3 兼定 吉登 | 31名 | 全関東学生ジムカーナ新人戦 | ビックパワークラス | 優勝 (機サ3年 兼定 吉登) | 2/24 |
| | | | | 全関東学生ダートトライアル選手権大会 | 個人戦 | 優勝 (デザ4年 石井 与詩乃) | 6/25 |
| | | | | 全日本学生ダートトライアル選手権大会 | 個人戦 | 優勝 (デザ4年 石井 与詩乃) | 8/6 |
| 全日本学生ジムカーナ選手権 | | | | 団体戦 | 優勝 | 8/20 | |
| 卓 球 部 | 電情3 渡辺 夏音 | 40名 | 春季関東学生リーグ | 女子団体戦 | 5部リーグ団体 優勝 | 5/5 | |
| | | | 女子入替戦 | 5部→4部昇格 | 6/10 | | |
| | | | 四大学対抗卓球大会 | 団体戦 | Aチーム優勝 | 6/11 | |
| | | | 関東学生卓球チームカップBブロック | 女子団体戦 | 第4トーナメント優勝 | 9/5 | |
| | | | 四大学対抗卓球大会 | ダブルス戦 | 優勝(情報1年 青藤 星夜・NS1年 大木 雅生) | 12/10 | |
| 二 輪 部 | 機サ3 大野 慶 | 46名 | キャンパスオフロードミーティング初戦 | 初級クラス | 優勝 (電気2年 照井 遼) | 4/30 | |
| パ レ ー ボ ー ル 部 | 知能2 加藤 一輝 | 37名 | 春季関東大学バレーボールリーグ戦 | 8部→7部昇格 | 5/14 | | |
| 軟式庭球部(奨励として) | 先端2 遠藤 剣太 | 37名 | 関東学生ソフトテニス春季リーグ戦(団体戦)で安田 悠人(先端1年)・遠藤 剣太(先端2年)ペア 関東学生ソフトテニス秋季リーグ戦(団体戦)で菅澤 一成(機サ3年)・高橋 幹(経情3年)ペア が全勝賞を受賞、大いに活躍しクラブを盛りあげ、今後の更なる飛躍が期待される。 | | 5/7 10/1 | | |
| 文 化 会 | 総合工学研究会 | 未口2 吉岡 真一 | 24名 | ROBOT JAPAN 14th | RJフライ級 | 優勝 (電情3年 富田 修平) | 9/10 |
| | 書道倶楽部(奨励として) | 金融2 渡辺 類 | 29名 | 第41回全国学生書写書道展において2名が優秀特選を受賞し、また、内1名が審査委員会賞を併せて受賞した。 | | 9/24 | |
| | 吹奏楽部(奨励として) | 機械2 望月 雄貴 | 71名 | 入学式や学位記授与式をはじめ、津田沼等多くの大学行事で演奏を行っている。また、各種団体からの要請を受け、いきいき夏祭りやJR東日本ベイサイドプロジェクト等で積極的に演奏を行っていることから、大学や地域への貢献が高いと評価できる。 | | | |
| | 天文研究部(奨励として) | 機電2 藤原 克昭 | 40名 | 天体に関する催し「星空教室」は事業所内保育所、千葉工大ひまわり保育園の園児に大変人気であり、年に複数回実施している。特に習志野市教育委員会からの要請を受け小学生を対象に実施している「星空教室」は、親子で参加できることから恒例行事となっており、地域における交流の一翼を担っていると評価できる。 | | | |
| | 手芸倶楽部(奨励として) | 金融2 加藤小百合 | 52名 | 公民館等で開催されているミニディサービス(地域が支えあい、高齢者が様々な活動を通して楽しく過ごすサービス)に出向いて手芸講習を行い、高齢者の生きがいづくりや交流に貢献していることは評価できる。 | | | |
| 電気研究部(奨励として) | 通信2 千田 泰誠 | 27名 | 多くのアマチュア無線コンテストに参加し、上位入賞を果たしている。また、意欲的に他大学との交流を行い文化会の活性化に尽力し、文化会所属サークルの模範であると評価できる。 | | | | |

定年退職者の皆さん

3月に定年を迎えられる教職員の皆さんを紹介し
ます。思い出や学生たちへの温かい励まし
の言葉を残して
くださいました。
(敬称略)

柳川 博文 (情報ネットワーク学科・教授)



常に何かを発見する感性を
失わないように

堀内 俊幸 (ロジエトマネジメント学科教授)



長い間ありがとうございました。
皆様のご活躍を願っております。

道心堅固

教員 (6人)

上田 宏 (建築学科・教授)



大久保 政憲 (教育センター・教授)



皆さん、お元気で

田村 和夫 (建築都市環境学科・教授)



皆様のおかげで、充実した生
活をおくることができました。
ありがとうございました。

森 弥広 (建築都市環境学科・准教授)



ご自愛下さい。
長い間、有難うございました。

研究員 (1人)

小原沢 則之 (国際金融センター主任研究員)



調査・研究・開発に没頭する
環境と時間をいただき大変感
謝しています。定年退職後
も、知的好奇心を持ち続け、
創造的な活動に携われたらと
思っています。

職員 (6人)

唐沢 武 (総務部 事務職員)



Everything is Experience !!

佐々木 章 (総務課 警備主任)



心から感謝申し上げます。
ありがとうございました。

安部 宗悦 (総務課・千種校地警備主任)



有言実行
ありがとうございました。

馬淵 三郎 (新習志野施設課 技術員)



「何事もやらまいか」

金子 武弘 (新習志野施設課 技術員)



楽しく過ごさせていただけま
した。ありがとうございます。

曾根 周 (総務課 警備員)



お世話になりました。
皆様のご健康と益々のご活躍
をお祈りいたします。

PPA



少々かじっておりましたので、見学を楽しみに参加させていただきました。当日は、空手道部の本学最高顧問(なんと87歳!)やOBの方々の演武等が披露され、高齢とは思えない動きや型に感心させられました。中でも私が注目したのは、新入部員の演武でした。まだ、入部して半年程度の男子1年生の型が大変素晴らしいので、大

泣する学生もいた。私の学科では3年生から研究室での研究活動が始まるが、一昨年の春、妻が三つ子を出産するという私事で配属直後の彼らに大きな迷惑をかけた。そんな中でも自ら研究に励み、立派に卒業していく姿には逞しさを感じる。三つ子も妻のご両親の全面的な協力を受け問題なく成長し、1歳半を過ぎて言葉を発するようになってきた。一卵性の女の子で、本人たちの間で

も名前を間違える(長女が次女を見て三女の名前を言う)ほどそっくりだが、表情や動き、好き嫌いななどに特徴があり、周りの大人が間違えることはほとんどない。こうした微妙な違いを個性として伸ばしながら成長して欲しいと親として願うとともに、教員としては学生たちの成長に対する責任を改めて感じる日々である。

未来ロボティクス学科 前田 修作

四季雑感



千葉工業大学にお世話になり始めて4年が経とうとしている。私と同時に大学に入ってきた、言わば「同期」の学生たちがこの3月で卒業する。先日、研究室で卒業研究発表を終えた4年生を慰労する会が開かれ、後輩から心のもった贈り物を受け取り感激のあまり

「とても気に入っている」ことばがある。それは「縁」ということば。いつ頃からか定かではないが、仕事上のお付き合いや、イベントへの参加など、色々な方と出会い、「いい出会い、ご縁に恵まれた」という「縁」コメントを見かけるようになった。どこかふんわりゆるやかで、あたためられる「縁」(縁)という「縁」

編集だより



3月中旬から後半にかけて、恒例ともいえる花粉の飛散に怯えるこの時期は、入学試験が全て終わり「ほっ」と一息つく間もなく入学までの手続き業務が続く。この一年の締めくくり期間に、思い起こしては

ただでなく「」がつくのは、無意識にも二度とめぐりうことが出来ないという感覚が動き、ありがたい(めったにない)という感謝の気持ちが起こるからかもしれない。これから卒業する学生の皆さん。これまでの素敵なご縁を忘れず、新たなご縁を迎えられますように……ご卒業おめでとうございます。

入試広報課 大橋 慶子